

大雪に備えましょう！

1 月 18 日に大雪がありました。今後も大雪が警戒されます。万全の対策で臨みましょう！

1 補強をしましょう（補強方法について）

①ハウス中柱 導入（図1）

ハウス中央、棟部に 34.0φ程度のパイプ、竹、木材などを使用（最大4mまで）。設置・取り外しが容易な製品も販売されています！

②水平引張線の増設（図2）

（アーチの肩を針金で張って引きつける）
積荷重による肩部の広がりを抑える。

③筋交（スジカイ）の設置

X型補強（図3）

棟から3/4の位置と軒を結ぶように斜材で補強する。
タイバーによる補強よりも効果大。

④アーチの増設 間隔を半分にすると倍の強度。

⑤タイバーに（図4）よる補強、軒から3/4の位置にタイバー取り付け。

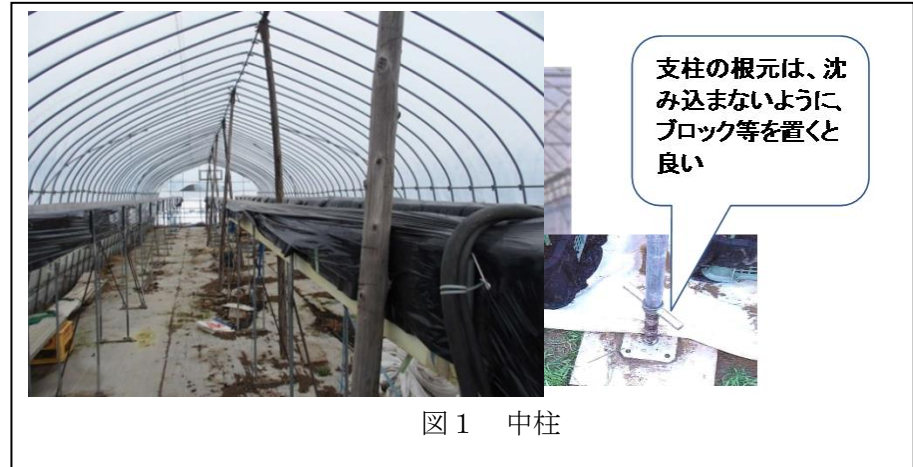


図1 中柱



図2 水平引張線



図3 X型補強



図4 タイバー

2 降雪時の対策

①パイプハウスも暖房をすること（積もる前から行う）！

ハウス上に雪が乗らなければ、耐雪性の低いハウスでも倒壊を防ぐことができます。

屋根の傾斜が 15°（約 2.7 寸）以上で、室温が 5℃以上あれば、尾根上の雪を滑落させることができる。

※一般の温室は通常は傾斜 20°（4 寸勾配）

②暖房機とカーテンを活用して カーテン上の空間を暖める（図4-1、2）

暖房容量 大きな暖房機 ⇄ 小さい暖房機

カーテン開度 大きく開け ⇄ 小さく開け

※連棟の場合はダクトをまわすこと！

③ハウスサイドに溜まった雪を融雪、除雪する

ハウスとハウスの間隔を広くとり、雪の溜まるスペース（と除雪できるスペース）を十分取っておく。また前回降った雪は可能な限り、除雪、融雪する。

ハウスサイドに雪が溜り、横からの圧力で倒壊しそうな場合はサイドのビニールを切る。

④除雪方法

除雪器具を使用する。早いうちから除雪する（図5）

大量に乗った雪を除雪する場合は、片側を一度に行わないこと（図6）。

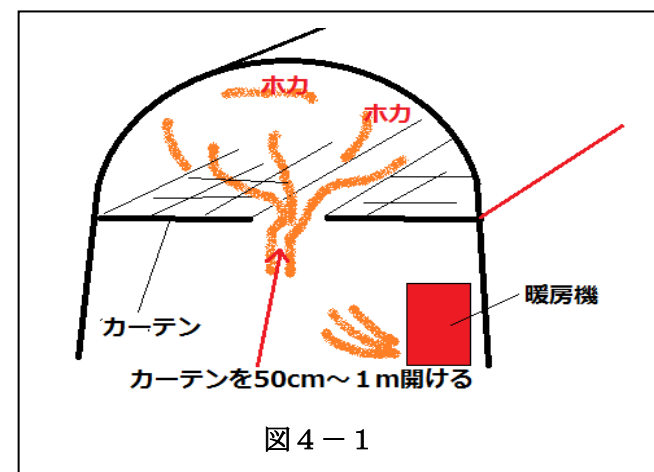


図4-1

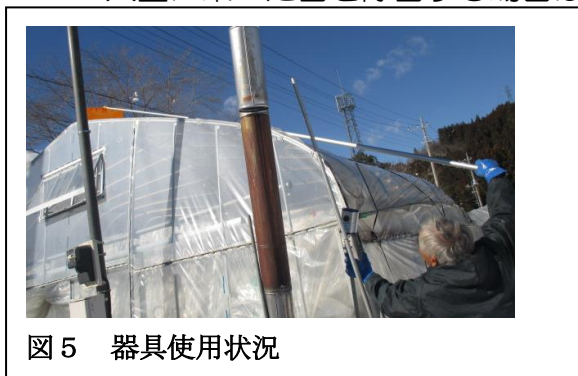


図5 器具使用状況

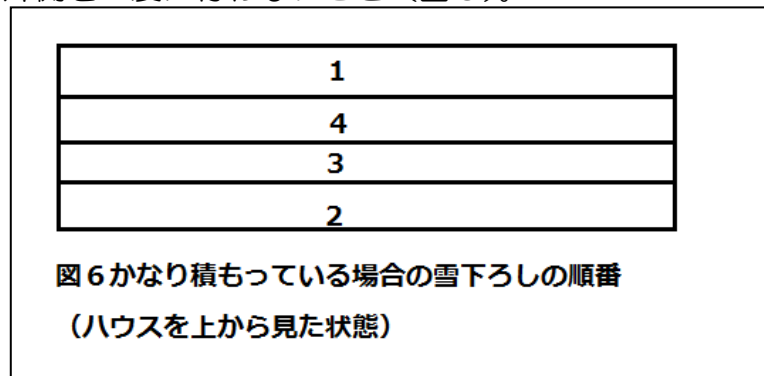


図6 かなり積もっている場合の雪下ろしの順番
（ハウスを上から見た状態）

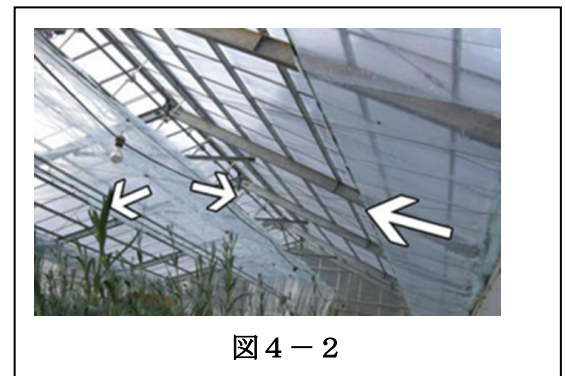


図4-2

●安全第一・人命優先で、危険な状態では作業を行わないようにしてください！